

報道関係各位

2020年1月15日

千葉エコ・エネルギー株式会社

株式会社つなぐファーム

地域利用可能な蓄電池を導入するための資金調達をクラウドファンディングで実施 ～災害時は持ち運び利用、日常時は電化農業利用～

千葉エコ・エネルギー株式会社（本社：千葉県千葉市、代表取締役：馬上丈司）と、株式会社つなぐファーム（本社：千葉県千葉市、代表取締役：富岡弘典）が運営する「千葉市大木戸アグリ・エナジー1号機」に、持ち運び可能な蓄電池導入のための資金調達を日本最大のクラウドファンディング・プラットフォーム「CAMPFIRE」を利用してクラウドファンディングで実施いたします。

地域に電気と野菜を届ける若手農家の挑戦！！（公開前）

tsunagufarm プロジェクトオーナー名は実名です。 まちづくり・地域活性化



¥ 現在の支援総額
0円

目標金額は1,000,000円

👤 パトロン数
0人

🕒 募集終了まで残り
65日

＼公開されたらメールでお知らせ！／

❤️ お気に入り **2**

公開前

このプロジェクトはまだ公開されていません
限定公開URLを取得すると、そのURLを知っている全員がこのプロジェクトを公開前で見ることができるようになりますが、支援はプロジェクトが公開されるまで行えません。

千葉市で活動している農業法人つなぐファームです。畑で「農業」と「太陽光発電」を同時に行なう新しい農業モデルで、二重稼働と電気を作っています。昨年9月の台風で私達の地域は1週間以上停電しましたが、地域の方に電気を届ける手段がなく悔しい思いをしました。地域の力になる農場を作るための支援をお願いします！

(※本クラウドファンディングページ(1/15公開予定): <https://camp-fire.jp/projects/view/210621>)

2019年秋に国内を襲った台風とそれに伴う暴風雨は、日本各地に大きな被害の爪痕を残しました。弊社が受けた直接的な被害は大きくありませんでしたが、農業と発電事業を同時に取り組む企業として、非常時に地域へどのような貢献を出来るのかを、改めて考えさせられる機会となりました。

弊社の農場と太陽光発電設備がある地域は、昨年9月の台風15号の際に停電が8日間続きました。太陽光発電設備には被害がないにも関わらず、停電により電力網が停止してしまうと、農家の隣の民家にさえ電気を届ける術がありません。今回は、クラウドファンディングを利用して、農場に蓄電池を導入する支援をいただける方を募集します。蓄電池を導入後は、日常時は農業用電動機器の電源として利用し、災害時には持ち運びが可能で地域の方々が利用する仕組みを作ります。本プロジェクトを支援いただいた方には、農作物の詰め合わせや農業イベントへの招待状を御礼としてお送りし、現地の農場や「農業×エネルギー」の取り組みを体感いただきたいと思います。

本プロジェクトの経過発信と実現を通して、クラウドファンディングなどを利用し、太陽光発電を地域のために活かす取り組みが増え、様々な地域の防災などに役立つモデルになることを目指しています。

■千葉エコ・エネルギーについて

会社名：千葉エコ・エネルギー株式会社

所在地：〒263-0022 千葉県千葉市稲毛区弥生町2-15 西千葉浪花ビル3F

代表者：代表取締役 馬上 丈司

設立：2012年10月

URL：<https://www.chiba-eco.co.jp>

千葉エコ・エネルギー株式会社は、千葉大学発の環境・エネルギー系ベンチャー企業です。弊社のソーラーシェアリング（営農型太陽光発電）に関する取り組みは、農林水産省の優良事例としても取り上げられ紹介されており、G20などの国際会議でも発信されています。海外からの視察受け入れだけでなく、シンポジウム国際的な学術フォーラムへの登壇なども行っており、国内に限らず多くの信頼を寄せていただくソーラーシェアリングのスペシャリストです。

■つなぐファームについて

会社名：株式会社つなぐファーム

所在地：〒263-0022 千葉県千葉市稲毛区弥生町2-15 西千葉浪花ビル3F

農場：千葉県千葉市緑区大木戸町

代表者：代表取締役 富岡 弘典

設立：2018年2月

URL：<https://www.tsunagufarm.com/>

千葉エコ・エネルギー株式会社のメンバーを中心に設立した農業法人です。千葉県千葉市緑区大木戸町で、『農地・ひと・地域を次の世代につなぐ』をコンセプトに掲げ、千葉エコ・エネルギー株式会社から芽を出した農業法人です。未来につながる農業に取り組んでいます。